

5K0K の FT8 運用ガイドライン(重要) Ver.2

赤字が前 Ver.から変更された部分です.

<使用ソフトと呼び方>

- ・DXpedition mode(F/H)は使用しません.
- ・マルチスロット(複数局との同時 QSO)で運用する場合は MSHV を使います.
- ・したがって特別な設定は必要なく、自分の好きなソフトを使い、通常の QSO の仕方で OK です.

<標準周波数と専用周波数の使い分け>

- ・最初は FT8 の標準周波数でノーマル・モード運用し、沢山呼ばれるようになった時点で専用周波数に QSY して MSHV のマルチスロット・モード(最大 5 局と同時 QSO)で運用します.
- ・例外もありますが、基本的に FT8 の標準周波数でマルチスロット・モードは使いません.

<呼ぶ際の注意>

- ・頻繁に CQ を出すので、それがデコード出来たら呼んでください.
- ・CQ を出す際に地域指定をすることもあるので、よく見て従ってください.
- ・5K0K は常に Even で送信します.
- ・5K0K はおおよそ 200Hz~3,000Hz を聞いて(見て)いますので、そこで呼んでください. ただしバンドプランの逸脱に注意してください. (特に 160m と 80m はオフバンドしないよう冷静に確認願います)
- ・GL(グリッド・ロケータ)から距離を判断して遠い距離の局を優先することもありますから、できれば GL 付きの Tx1 で呼んでください.
- ・基本ですが、PC の時計は正確に合わせてください.

<QSO が進んだ時の対応>

- ・「<Your Call> 5K0K RR73」が来たらログインされています.
- ・コールバックがあってから 2 分間以内に「RR73」が来なければ、それ以上 Tx3 の「5K0K <Your Call> R+ レポート」を送らず、もう一度最初から呼び直して下さい.
- ・同じバンドで重複 QSO をしないでください.
- ・Club Log に載らない場合は再度 QSO してください.
- ・島のインターネット回線が安定していて早ければ、リアルタイムロギングの「QSO Director」

<http://www.qsodirector.com/event/5k0k/>

と「Club Log live stream」

<https://clublog.org/livestream/5k0k> を使用する予定です.

- ・もし FT8 の要求が少ないかバンド・コンディションが悪い場合は、標準周波数でノーマル・モード運用することもあります.

専用周波数(参考 : +-QRM)

160m : 1,844 kHz plus 1,908 kHz for JA

(1,844kHz で JA 局は運用出来ません. JA との QSO は QSX 1,908kHz の SPLIT で行われますから、送信前によく確認願います.)

80m : 3,590 kHz

(3,590 kHz で JA 局は運用出来ません. JA のバンドプラン内に QSX 周波数を指定した SPLIT 運用もあり得るので、指示をよく確認願います.)

40m : 7,065 kHz

30m : 10,145 kHz

20m : 14,085 kHz

17m : 18,105 kHz (18,117kHz は USA のバンドプランに合わないため変更された模様)

15m : 21,110 kHz

12m : 24,918 kHz

10m : 28,095 kHz

6m : 50,328 kHz